

平成 29 年 度

枚方京田辺環境施設組合
決算審査意見書

枚方京田辺環境施設組合監査委員

目次

第 1. 審査の対象	2
第 2. 審査の期間	2
第 3. 審査の方法	2
第 4. 審査の結果	2
第 5. 決算の概要	3
1. 決算の状況	3
2. 歳入	4
3. 歳出	6
4. 財産の状況	8
第 6. 意見	8

(凡例)

1. 文中及び各表中の金額は、原則として千円単位で表示し、単位未満を四捨五入して表示したため、総数と内訳等が一致しない場合がある。
2. 文中及び各表中の比率は、原則として小数点以下第 2 位を四捨五入し、第 1 位まで表示したため、合計と内訳の比率が一致しない場合がある。
3. 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
「－」…………… 比較不能、不用のもの又は該当数値のないものを示す
「△」…………… 負数を示し、増減を示すときは減を示す

枚京監第15号
平成30年9月25日

枚方京田辺環境施設組合
管理者 石井 明三 様

枚方京田辺環境施設組合
監査委員 分林 義一
監査委員 高野 寿陞

平成29年度枚方京田辺環境施設組合一般会計歳入歳出決算審査意見書の提出について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、平成29年度枚方京田辺環境施設組合一般会計歳入歳出決算書その他政令で定める書類を審査したので、その結果について、次のとおり意見を提出する。

第 1. 審査の対象

平成 29 年度枚方京田辺環境施設組合一般会計歳入歳出決算

平成 29 年度枚方京田辺環境施設組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書

平成 29 年度枚方京田辺環境施設組合一般会計実質収支に関する調書

平成 29 年度枚方京田辺環境施設組合財産に関する調書

第 2. 審査の期間

平成 30 年 8 月 28 日から平成 30 年 9 月 25 日まで

第 3. 審査の方法

審査に付された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、関係法令に準拠して作成されているか、計数の正確性、事務処理の適否、予算執行状況等について検討するため、関係諸帳簿を照合し、また、関係職員から説明を受け審査を行った。

第 4. 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、決算の計数は、関係諸帳簿と符合して正確であると認められた。また予算執行及び事務処理についても、例月現金出納検査・定期監査を通じて検査・監査した結果、おおむね良好に処理されていた。

第5. 決算の概要

1. 決算の状況

平成29年度の決算額は、予算現額1億6,642万9千円に対して

歳入 1億6,137万2千円

歳出 1億5,090万9千円

となっており、前年度に比べ、歳入で6,937万6千円(75.4%)増加し、歳出で7,862万8千円(108.8%)増加している。

歳入歳出差引き(形式収支)、実質収支ともに1,046万3千円の黒字となっており、前年度の実質収支額を差し引いた単年度収支は948万2千円の黒字となっている。

歳入歳出決算状況は、次表のとおりである。

歳入歳出決算状況

(単位:千円、%)

区分	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率
予算現額	166,429	112,246	54,183	48.3
歳入決算額 (A)	161,372	91,996	69,376	75.4
歳出決算額 (B)	150,909	72,281	78,628	108.8
歳入歳出差引額(形式収支額) (A)-(B) (C)	10,463	19,715	△9,252	△46.9
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	0	18,734	△18,734	皆減
実質収支額 (C)-(D) (E)	10,463	981	9,482	966.6
前年度実質収支額 (F)	981	-	981	皆増
単年度収支額 (E)-(F)	9,482	981	8,501	866.6

2. 歳入

(1) 歳入の概要

決算額は1億6,137万2千円で、予算現額1億6,642万9千円に対して5,057万円の減となり、執行率は97.0%である。また、調定額1億6,137万2千円に対する収入率は100.0%である。

決算額を前年度と比較すると6,937万6千円(75.4%)増加している。

決算額の内訳は、次表のとおりである。

(単位:千円、%)

款	平成 29 年度				平成 28 年度		対前年度比較 (収入済額)	
	調定額	収入済額	収入率	構成比	収入済額	構成比	増減額	増減率
分担金 及び 負担金	122,224	122,224	100.0	75.7	91,996	100.0	30,228	32.9
国庫 支出金	19,433	19,433	100.0	12.1	0	0.0	19,433	皆増
諸収入	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0
繰越金	19,715	19,715	100.0	12.2	-	-	19,715	皆増
合計	161,372	161,372	100.0	100.0	91,996	100.0	69,376	75.4

※収入率・・・収入済額/調定額(以下同じ)

※構成比・・・収入済合計額に占める比率

(2) 歳入の収入状況

歳入の状況を款別にみると、次のとおりである。

1 款 分担金及び負担金

(単位:千円、%)

予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
135,912	122,224	122,224	0	0	100.0

収入済額は1億2,222万4千円で、前年度に比べ3,022万8千円(32.9%)増加している。内容としては、構成市からの負担金収入である。

2 款 国庫支出金

(単位:千円、%)

予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
10,800	19,433	19,433	0	0	100.0

収入済額は1,943万3千円で、前年度に比べ皆増している。内容としては、環境省からの交付金収入である。

3 款 諸収入

(単位:千円、%)

予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
2	0	0	0	0	0.0

4 款 繰越金

(単位:千円、%)

予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
19,715	19,715	19,715	0	0	100.0

収入済額は1,971万5千円で、前年度に比べ皆増している。

3. 歳出

(1) 歳出の概要

決算額は1億5,090万9千円で、予算現額1億6,642万9千円に対して1,552万円の減となり、執行率は90.7%である。

決算額を前年度と比較すると7,862万8千円(108.8%)増加している。

決算額の内訳は、次表のとおりである。

(単位:千円、%)

款	平成 29 年度		平成 28 年度		対前年度比較 (支出済額)	
	支出済額	構成比	支出済額	構成比	増減額	増減率
議会費	280	0.2	346	0.5	△66	△19.1
総務費	122,649	81.3	71,886	99.4	50,763	70.6
衛生費	27,981	18.5	49	0.1	27,932	57,004.1
予備費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	150,909	100.0	72,281	100.0	78,628	108.8

(2) 歳出の性質別経費の状況

性質別に経費を分類すると、次表のとおりである。

(単位:千円、%)

区分		平成 29 年度		平成 28 年度		対前年度比較 (支出済額)	
		支出済額	構成比	支出済額	構成比	増減額	増減率
義務的 経費	人件費	279	0.2	207	0.3	72	34.8
その他 経費	物件費	38,541	25.5	4,317	6.0	34,224	792.8
	補助費等	112,089	74.3	67,756	93.7	44,333	65.4
合計		150,909	100.0	72,281	100.0	78,628	108.8

※性質別分類区分

人件費 ……報酬、災害補償費

物件費 ……旅費、交際費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、
備品購入費

補助費等……負担金、補助及び交付金

(3) 歳出の執行状況

歳出の状況を款別にみると、次のとおりである。

1 款 議会費

(単位:千円、%)

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
391	280	0	111	71.6

支出済額は28万円で、前年度に比べ6万6千円(△19.1%)減少している。この主な要因としては、需用費が減少したことによるものである。

不用額は11万1千円で、執行率は71.6%となっている。

2 款 総務費

(単位:千円、%)

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
126,028	122,649	0	3,379	97.3

支出済額は1億2,264万9千円で、前年度に比べ5,076万3千円(70.6%)増加している。この主な要因としては、財務会計及び公会計システム導入等に係る委託料、派遣職員給与費等負担金などが増加したことによるものである。

不用額は337万9千円で、執行率は97.3%となっている。

3 款 衛生費

(単位:千円、%)

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
39,010	27,981	0	11,029	71.7

支出済額は2,798万1千円で、前年度に比べ2,793万2千円(57,004.1%)増加している。この主な要因としては、環境影響評価業務等に係る委託料が増加したことによるものである。

不用額は1,102万9千円で、執行率は71.7%となっている。

4 款 予備費

(単位:千円、%)

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
1,000	0	0	1,000	0

4. 財産の状況

(1) 公有財産(土地・建物)

該当なし

(2) 物品(取得価格又は評価額が 50 万円以上の備品)

区分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
財務会計システムハードウェア	0	1	1

(3) 債券

該当なし

(4) 基金

該当なし

第 6. 意見

平成 29 年度の決算額は、歳入は 1 億 6,137 万 2 千円で、前年度に比べ 6,937 万 6 千円(75.4%)増加し、歳出は1億 5,090 万 9 千円で、前年度に比べ 7,862 万 8 千円(108.8%)増加している。

歳入歳出差引き(形式収支)、実質収支ともに 1,046 万 3 千円の黒字となっており、前年度の実質収支額を差し引いた単年度収支は 948 万 2 千円の黒字となっている。

組合設立後 2 年目となり予算規模が大きくなっている中で、予算執行にあたっては、衛生費国庫補助金の確保、競争性を高める発注方法等により経費削減に努められたこと、また、ホームページ等を通じ予算や事務事業の執行状況などの情報を積極的に提供されていることは評価できる。

今後も引き続き、効率的かつ効果的に事務事業を進めていくため、次の点に留意して取り組まれるよう要望する。

- ① 事務事業の執行については、今後も国庫補助金等の確保を図るとともに、経費節減に取り組まれ、より一層効率的・効果的な財政運営に努めること。
- ② 業務等の発注にあたっては、今後も引き続き、入札・契約事務の透明性、公平性、公正性及び競争性の確保に努めること。
- ③ 事務事業の実施にあたっては、引き続き透明性と説明責任を図り、両市の市民等に対し、適切な情報提供に努めること。
- ④ 予算の補正が比較的多く生じたが、予算編成にあたっては、事業の精査を十分行い、適切な予算措置に努めること。